



医療法人徳洲会

札幌東徳洲会病院 広報誌

PUBLIC
RELATIONS
MAGAZINE

すこやか

SAPPORO HIGASHI TOKUSHUKAI HOSPITAL

VOL. 235

2025年春号 5▶7

特集

急性腹痛

知っておきたい

手術が必要な腹痛

ご自由
にお持ち
ください

Take
Free



禁煙
NO Smoking

当院は健康増進法第25条に基づき、「館内・敷地内全面禁煙」です。ご協力をお願いいたします。

ご挨拶 院長 山崎 誠治

この春、新入学を迎えた皆さま、あるいは新社会人になった皆さま、誠におめでとうございます。さぞ大きな希望を胸に抱き明日を夢見ていることでしょう。春は心機一転、新しい一歩を踏み出す季節ですね。全ての皆さまにエールを送ります！ 私たちも同様です。毎年、新年度を迎えるにあたって『年度目標』を設定します。もちろん医療従事者として全てのことをおろそかにしてはいけないのですが、『医療の質』を高めるためには不断の努力が欠かせません。そこで旧年度を振り返り心機一転、新たに目標を設定し全職員で取り組んでいます。

私たちが大切にしている「断らない医療」に関係するものなど、あえて毎年同じ言葉で掲げるものもあれば、全く新しい取り組みとして掲げるものもあります。今回新しく掲げたものは、①医療安全管理体制の強化、②院内感染対策の強化、そして③医療DX、医療ITの推進の3つです。医療安全管理と院内感染対策は医療の根幹をなすものでさらに充実を図ります。医療DXと医療ITで生み出される『余裕』は医療機能の向上に結びつけていきます。一朝一夕ではいきませんがスピード感をもって取り組んでいきます。

さて、2月1日付けで南区の札幌真駒内病院と五輪橋マタニティクリニックが徳洲会グループの仲間になりました。札幌外科記念病院(中央区)と合わせ当院との連携を強化し、札幌南部エリアの医療を支えていきます。

引き続き皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



就任の挨拶と抱負 看護部長 渡邊 綾

2025年3月で看護部長に就任いたしました渡邊綾(わたなべあや)と申します。離島医療に関わりたいと考え徳洲会グループに就職し27年が経とうとしております。これまで名瀬徳洲会病院(鹿児島県奄美大島)への応援や徳洲会グループの研修で全国の病院に行く機会を頂き、多くの学びを得てきました。徳洲会は「生命だけは平等だ」という理念のもと、いつでも、どこでも、誰もが最善の医療を受けられる社会を目指しております。

札幌東徳洲会病院は札幌市の救急医療を支える急性期病院です。超高齢社会を迎えた今、地域包括ケアシステムの中で当院の果す役割を考え患者さま中心の看護の提供を心がけております。看護部理念である「心に届く看護」を提供するため、地域の皆さまや近隣医療機関の皆さまとの繋がりを大切にしたいと考えております。そして当院で診療を受け、関わった全ての方が「この病院でよかった」と感じていただけるよう人材育成とともに看護実践に取り組んで参ります。



当院の理念・方針

- 生命を安心して預けられる病院
- 健康と生活を守る病院

- 「年中無休・24時間オープン」で、救急医療を提供します。
- 病気の治療だけでなく、健康増進と病気予防を推進します。
- 安全管理の徹底に努め、安心できる医療の提供を目指します。
- 医療技術・診療態度の向上に絶えず努力します。

特集

急性腹症

知っておきたい手術が必要な腹痛

急に発症した腹痛の中で、特に緊急手術の可能性や迅速な対応を必要とする「おなかの病気」の総称を『急性腹症』といいます。腹痛は主におなかの病気に由来することが多いですが、おなか以外の病気でも腹痛を引き起こすことがあるため、速やかな診断と治療が求められます。救急外来を受診する患者さまの5～10%が急性腹症といわれています。道内でもトップクラスの救急車受け入れ台数を誇る当院でも、2024年の救急外来・時間外外来受診者約15,400名の内、腹部疾患の患者さまは1,450名、全体の9.4%を占めており、決して珍しい病気ではありません。今回は急性腹症の種類や腹痛を引き起こすよくある病気、受診の目安について、外科の萩原先生に伺いました。

すこやか VOL. 235

2025年春号 5▶7

I N D E X

ご挨拶

院長 山崎 誠治 / 看護部長 渡邊 綾 2

特集

急性腹症
～知っておきたい手術が必要な腹痛～ 4

医療連携

この内科・消化器内科クリニック 8

院内紹介

改修工事完了・札幌真駒内病院
診療情報管理室 9

健康運動

冬の運動不足を解消!
元気に春を迎えましょう! 10

健康レシピ

山芋ふわふわ焼き 11

急性腹症 知っておきたい手術が必要な腹痛

急性腹症の3分類

急性腹症

緊急手術が必要

経過により手術が必要

手術の必要がない

医師はまず、患者さまの顔色、意識の有無、血圧や脈拍、呼吸等の状態を確認します。炎症がある場合は発熱していることも多いです。そして、今起きている痛みや患者さま自身について伺い、おなかの音を聞いたり触診したり、血液や尿検査、画像診断などを経て、痛みの原因を探ります。よくある病気から考えたり、性別や年齢から考えたり、痛みの場所から考えたりしながら、診断と治療方針を決定します。急性腹症には、**1.緊急手術が必要**、**2.経過により手術が必要**、**3.手術の必要はない**、の3つに分類されますので順に見ていきましょう。

分類1

緊急手術が必要

①胃や小腸、大腸などの食べ物の通り道である消化管に穴があいている場合。よく聞く病気に胃潰瘍や十二指腸潰瘍などがあります。そのほか、がんによって穴があくことや、交通事故による衝撃で穴があいたり、便秘で穴があいてしまうこともあります。また、おなかを通る太い血管にできた瘤(こぶ)が破裂したり、虫垂と呼ばれる臓器が破裂することもあり、その場合も手術が必要になります。

②強い炎症がある場合。よく聞く病気に虫垂炎や胆嚢炎があります。炎症の程度によって、緊急手術が必要かどうかを判断します。

③血液がいきわたらず壊死している(くさる)場合。例えば、過去に腸の手術をしたことがある方で、“腸と腸”や“腸と傷口”等が癒着し(くっつき)、隙間が空いていることがあります。その隙間に腸がはまり込むことがあります。はまり込んだままになると、その部分の血流が滞り、放っておくと数時間で壊死してしまいます。あるいは、おなかにある血管が血栓などで詰まり、腸の方に血液が流れなくなり壊死してしまいます。これらの場合は、緊急手術が必要です。

分類2

必ずしも緊急手術は必要ないが、経過により手術を行うことがある

①胃腸にあいた穴が小さい場合や痛みが局所の場合。手術をせずに薬剤等で治療が可能なこともあります。ただし、経過を見て痛みが広がってくるようであれば、手術が必要になることもあります。

②軽度または中等度の炎症である場合。例えば虫垂炎の初期であれば、最近では抗生物質で治療できることが多いです。

③食べ物の通り道が塞がっている場合。腸閉塞が該当します。必ずしも手術は必要でなく、絶食をしたり、鼻から長い管を入れ、腸の中の消化物などを吸引して腸内の圧力を下げることで治ることもあります。それでも治らない方が手術の対象となります。

④胆石、尿管血石があり、胆嚢炎を引き起こしている場合は緊急手術を行う可能性があります。

①急性胃腸炎、②過敏性腸症候群、③月経痛、④狭心症、心筋梗塞、⑤腎盂腎炎、⑥精神神経症などは手術の必要はありません。ただし、この中で特に気を付けたいのが④狭心症、心筋梗塞です。心臓の下の方(おなか側)の血管が詰まると、みぞおちあたりが痛み、腹痛として感じられることがあります。その場合は手術ではなく、血管の詰まりを解消するためのカテーテル治療となります。

急性腹症を引き起こすよくある病気4選

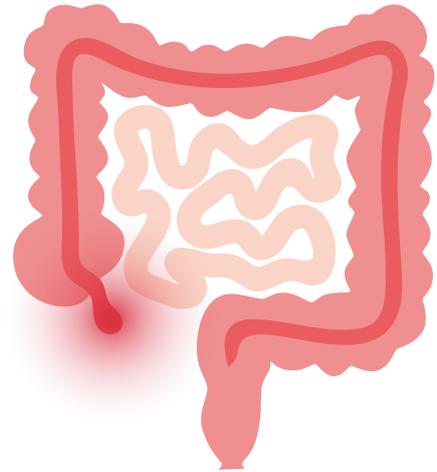
急性虫垂炎

急性腹症の中で最も頻度が高く、生涯を通じて15人に1人はかかると言われています。何歳でも発症する可能性があり、世間では「盲腸」と呼ばれている病気です。盲腸とは大腸の入り口のことをいい、盲腸から出た細長い臓器を虫垂といいます。この虫垂に便が詰まったり、炎症を起こすことで発症します。放っておくと重症化し、虫垂が破れ、膿が出るため、早めの受診をお勧めします。

最初のみぞおちに痛みが出て、右下に痛みが移動することが多いです。吐き気や食欲不振も症状として出るため、食欲がある場合、虫垂炎の可能性は低いかもしれません。

虫垂炎の程度により治療方針が決まります。軽症で手術を希望されない場合は抗生物質での治療となりますが、約40%程度が再発すると言われているため、一般的には炎症が落ち着いてから手術をします。膿が溜まっており炎症が強い場合は、感染による合併症を防ぐために抗生物質で一度炎症を沈め、2~3か月後に炎症が落ち着いてから手術をすることが多いです。虫垂が破れ、膿が広がってしまっている場合は、おなかの外から中にチューブを入れて、広がった膿を外に出す処置をします。

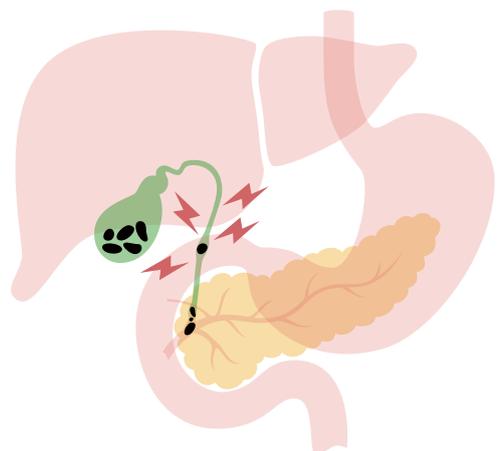
生活に気を付けていても発症してしまうことはありますが、胃腸に負担のかかる暴飲暴食を避け、適度な運動で腸を活発に動かすことが良いとされています。



急性胆嚢炎

胆石が胆嚢にでき、胆嚢管に詰まり胆汁に細菌が感染することで引き起こされるのが典型的な発症パターンです。時間が経つと胆嚢が壊死し、穴があき、膿がおなかの中に広がります。中には肝臓に膿をつくったりすることもあります。ほとんどは胆石が原因ですが、他の原因で胆嚢炎になることもあります。

ごく早期であれば、絶食や抗生剤でよくなる人もいますが、手術の場合は胆嚢を摘出する腹腔鏡手術または開腹手術のいずれかになります。胆嚢炎を発症してすぐの急性期の場合はすぐに手術に入れますが、時間が経って胆嚢の炎症が強い方



は、おなかの外から肝臓を貫き、胆嚢の中にチューブを入れ、胆汁を外に出す処置（経皮経肝胆嚢ドレナージ）が必要になることもあり、炎症が落ち着いてからの手術になります。胆嚢を摘出した後の生活を懸念される方もいらっしゃると思いますが、ほとんどの方において日常生活に支障はありません。脂肪分の多い食事を大量に摂取した後に下痢を起こすことがあります。整腸剤などで対応可能です。

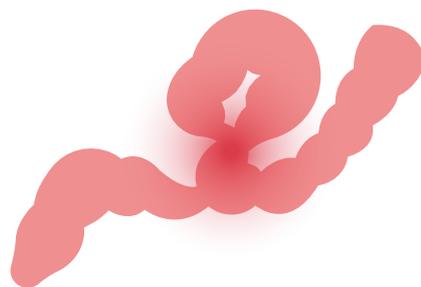
この胆石は、胆管に落ちることもあり、胆管で詰まってしまうと胆管炎となります。胆汁が流れなくなるため、黄疸の症状が出ます。また、胆管と膵管という二つの管が出口付近で一緒になるのですが、膵管近くの胆管で胆石が詰まると膵炎を引き起こす場合もあります。

胆嚢炎や胆管炎、膵炎を引き起こす胆石は、胆汁が流れる通路にでき、これを胆石症といいます。高齢化と食生活の欧米化に伴い、最近では日本人の10人に1人が患っているといわれています。胆石症の方でも症状が出ないまま一生を終える方もいますが、半数の方が右肋骨下やみぞおち、背中に痛みを感じ、黄疸が出る方もいます。痛みは特に食後に出現することが多いです。胆石症は肥満や多産婦の方、糖尿病と高コレステロール血症がある方は注意が必要です。発症を防ぐには、体重をコントロールし、良好な生活習慣を維持しましょう。

腸閉塞

腸閉塞にもいろいろなパターンがあり、一番多いのは過去におなかの手術をしたことがある人に起こる腸閉塞です。“腸と腸”や“腸とおなかの壁”が癒着し、通り道が狭まることで起こります。腹部全体の痛み、便秘、ガスがたまる、嘔吐などの症状を呈し、腹痛は軽いものから激痛を伴うものまでさまざまです。

軽度の場合は絶食をして胃を休め、必要な水分や栄養を点滴で補ったり、鼻から腸までチューブを入れ、腸内に溜まっている内容物を吸引して腸管内の圧力を下げたりします。それでも症状が改善しない場合や、血液がいかずに腸が壊死してしまうような場合には手術が適用されます。癒着部分を剥がしたり、問題のある腸管を部分的に切除し、残った腸管同士をつなぎ合わせます。最近では腹腔鏡による手術が増えています。おなかの手術歴のある方は、食事をゆっくりよく噛んで食べる、暴飲暴食や消化に悪いもの、食物繊維の多いものを避けるなどの食事療法で予防ができます。

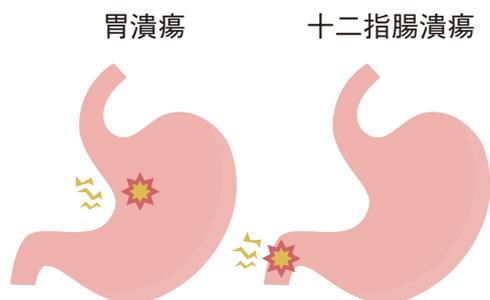


胃十二指腸潰瘍

胃の粘膜、十二指腸の粘膜にできる潰瘍をそれぞれ胃潰瘍、十二指腸潰瘍といいます。粘膜を守る働きと胃酸の消化作用のバランスが崩れることで起こります。ストレスや遺伝的要因の他、患者さまのヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）の感染率が高いです。

胃潰瘍は、食後少し時間が経過するとみぞおちや背中が痛み、食事を摂ると症状が和らぎます。潰瘍が進行すると、食後や空腹時を問わず痛むことがあり、高齢者では潰瘍からの出血が心筋梗塞や狭心症の引き金になることもあります。

十二指腸潰瘍は、腹痛の症状が最も多く、特に夜間や早朝などの空腹時に起こり、食事を摂ると症状が緩和します。潰瘍部分の出血が、吐血や下血を起こすことがあるほか、潰瘍部が狭まったり、変形したりする



ことで食べ物が通りにくくなり嘔吐を引き起こすこともあります。

共に軽症の場合は、過労やストレスを避け、胃酸の分泌を促進する食べ物を控える食事療法と、胃酸の分泌を抑え、胃の粘膜を保護する薬物療法により治療します。ピロリ菌の感染が認められる場合は、抗生物質を使用したピロリ菌の除菌療法を行います。薬物療法を行っても出血や強い症状が続く場合は、手術を検討します。出血に対しては内視鏡手術で止血を行うことが多いです。また、胃よりも壁が薄い十二指腸の場合は、潰瘍の進行により穴があきやすい傾向があります(十二指腸穿孔)。手術であいた穴を閉じ、大網と呼ばれる腹腔内の脂肪組織を用いて閉じた部分を覆います。原因ががんであったり、大きな穴の場合、何度も穴があいてしまう患者さまは、胃を一部切除する手術が必要となることもあります。

改善しない突然の腹痛は我慢せず受診を

突然の腹痛が起こり、改善しない場合や外傷後に腹痛などを生じた場合はすぐに受診してください。病状が悪化して治療が難渋することもありますので、ご自身やご家族が、『いつもより呼吸数が多い』、『冷や汗をかく』、『脈が速いまたは触れづらい』、『動くことが難しい』場合などは救急車を要請し、病院を受診することが大切です。当院では「24時間365日」緊急手術に対応できるよう、体制を整えています。

当科では、平日の午前と夕方17時～19時に外来診療を行っています。CT、MRI、血液検査、エコー検査などの診療時間でも対応可能です。今回ご紹介した急な腹痛に対する診察、診断を行うほか、外傷の消毒や縫合等の処置も行いますので我慢せずにご来院ください。また、近隣医療機関とスムーズな連携を実現するため、医師直通のホットラインを用意しています。



外科 / 主任部長 萩原 正弘

外科外来 診療案内

消化器外科を中心に外科領域全般にわたり診療を行っています。胃・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの消化器癌に対する外科的切除術を数多く行っており、消化器内科、放射線科と協力して患者さまそれぞれに最適な治療を提供できるよう取り組んでおります。

一方で、急性虫垂炎・鼠径ヘルニア・胆石症などの良性疾患に対する手術、腹膜炎や腸閉塞などの急性腹症に対する緊急手術も数多く行っております。

また、クローン病、潰瘍性大腸炎に対する外科治療も数多く行っており、当科の特色の1つです。

受付時間	診療開始	月	火	水	木	金	土
7:00 ~ 11:30	9:00	※	●	●	●	●	—
16:00 ~ 19:00	17:00	●	●	●	●	●	—

※予約のみ

こんの内科・消化器内科クリニック



web <https://shinkotoni-naika.jp/>

当院の理念

当院の目標として、患者さまごとに医療に望むことは人それぞれです。で予防から治療まで様々な医療サービスの中から一人一人のニーズに応じた医療を実践して充実した生活を送れるように貢献したいと考えます。そういう意味で『病気以上に人を診る』ことを理念としております。

当院の診療

専門領域である消化器疾患はもちろんのこと、風邪などの急性疾患から、高血圧、脂質異常などの生活習慣病など内科全般にわたる診療を行っております。内視鏡は上下部内視鏡検査が可能で、鎮静下や経鼻も対応しております。ご希望の方には上下部内視鏡を同時に施行することや、日帰りでのポリプ切除も可能です。また、当院の特徴として便秘外来を開設しております。便秘には回数の減少、便が固い、量が少ない、残便感など様々な症状が含まれ苦痛の原因は人それぞれです。当院では十分な問診の上、各種検査を通して、便秘の原因となる病態を把握し総合的に便秘診療を行っております。



こんの ようこう
院長 **金野 陽高**

- 日本内科学会総合内科専門医・認定医
- 消化器病学会専門医
- 消化器内視鏡学会指導医・専門医
- 医学博士

札幌東徳洲会病院との連携について

急性腹症など急な対応が必要なケースでは、快く対応していただき心強く感じています。外科をはじめ各先生方には大変感謝しております。今後も密接に連携を取らせていただきたいと思います。

診療のご案内 日曜祝日休診

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 18:00	●	※	●	—	●	—

※予約検査



交通アクセス

〒001-0902
札幌市北区新琴似2条1丁目1-52
(駐車場40台完備)
JR「新川駅」より徒歩8分
JR「麻生駅」より徒歩12分
TEL: **011-299-4107**



札幌市南区に 新たなグループ病院が誕生

2025年2月より札幌真駒内病院が徳洲会グループに仲間入りしました。開設から30余年、地域密着型の病院として医療を展開し、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科など12診療科にシャントセンターを擁している急性期病院です。市内のグループ病院との連携やバックアップ体制等、より良い医療を提供し安心して治療に専念いただける環境を整備しています。外来診療等の詳細はホームページをご覧ください。



ホームページ: <https://makomanai.tokushukai.or.jp>

院内紹介



増築・改修工事が完了

2022年12月よりスタートしました増築・改修工事が、2月17日をもって完了いたしました。長きにわたるご協力、ありがとうございました。第1期の増築工事では、Hybrid ERを新設、化学療法センターを移設し、2024年春より運用を開始。第2期の改修工事では、現在の各種法令、基準に合わせた施設整備、ICU機能拡張に伴う工事を行いました。地域の皆さまの健康と生活を守り、生命を安心して預けられる病院という理念のもと、今後も邁進してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



部署紹介

診療情報管理室

当院の診療情報管理室は「診療情報管理士」という資格をもつスタッフが所属しています。病院には医師や看護師等の記載した記録などが書かれた診療録(カルテ)をはじめとした様々な記録があります。この記録等をまとめて診療情報と呼ばれています。私たちは診療情報の点検・管理・活用・改善に向けた取り組みをしています。そして、診療情報を基に診療や教育のために統計資料の作成やがん登録*をはじめとした法令に基づいて厚生労働省や国へ治療実績の提出も行っています。そのため、日頃から精度の高い情報の収集・提供が出来るよう努めています。

◎患者さまご本人からの申請によるカルテ開示に対応しています。詳しくは病院ホームページをご覧ください。

*がんの罹患(病気にかかること)や転帰(最終的にどうなったか)という状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がんの患者数や罹患率、生存率、治療効果の把握など、がん対策の基礎となるデータを把握するために必要なものです(がん登録推進法)

冬の運動不足を解消!

元気に春を迎えましょう!



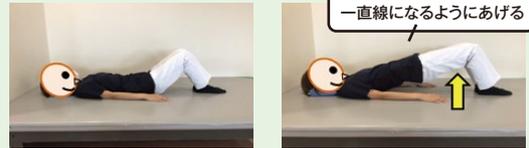
北海道の冬は雪が多く足元がわるいため、外出を控える方も多いかと思いますが、冬ごもり後、体力が低下したり、足腰が弱ってはいないでしょうか？
本日はこの春を健康に楽しめるよう、安全で簡単にできる運動をご紹介します!

運動方法

1 ブリッジ(お尻上げ運動)

5秒×10回 一日2セット

両足を肩幅程度に広げ、膝を立てて行います。

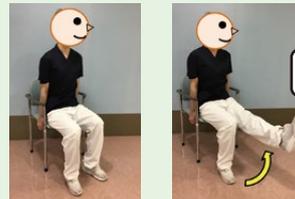


腰痛がある方は無理のない範囲で行いましょう

2 膝伸ばし運動

10~20回 一日2セット

椅子に座って行います。



3 背伸びの運動

15回 一日2セット

両足を肩幅に開き、壁や机につかまって行います。

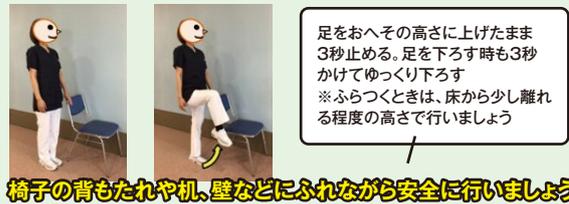


転倒しないように安定した椅子や机にしっかり掴まりましょう

4 片足立ち

左右30秒ずつ×3セット 一日2セット

椅子や壁に軽く触れながら行います。



椅子の背もたれや机、壁などにふれながら安全に行いましょう

5 スクワット

10~20回 一日2セット

椅子や机につかまり、両足を肩幅より少し開いて背筋を伸ばして行います。



転倒しないように安定した椅子や机にしっかり掴まりましょう

ウォーキングのポイント

歩 ムウォーキング前には、身体を大きく動かすような軽い準備体操と、ふくらはぎや太もものストレッチを行きましょう。

歩 ムウォーキングを行うときには、横から見たときに、耳・肩・腰・骨盤が一直線になる姿勢が理想的です。

歩 ム肘は軽く曲げて後ろに引くこと、おなかに力を入れることを意識しましょう。

息切れや疲労感に合わせて回数調整を行ってください。

いつもより一日10分運動時間を増やすことを意識して、この春も元気に外出しましょう!

作業療法士
小林 明日香



★材料 (2人分)

山芋	150g	
A	卵	1個
	醤油	小さじ1/2
	白だし	小さじ1
サラダ油	小さじ1	
小ねぎ	適量	
かつお節	適量	

★栄養価 (1人分)

熱量	: 108kcal	炭水化物	: 11.7g
たんぱく質	: 5.1g	食物繊維	: 0.8g
脂質	: 4.7g	塩分相当量	: 1.1g



※写真はイメージです。

★作り方

- 山芋の皮を剥いてすりおろし、Aの材料を入れてよく混ぜる。
- フライパンにサラダ油を入れて弱火～中火で火をつける。フライパンが温まったら生地を全量流し込み、蓋をして弱火に火加減を調整し、6分加熱する。
- フライ返しで生地を裏返し、1分程度加熱してお皿に盛り付ける。
- お好みで小ねぎ、かつお節をかけて完成。

～消化にやさしい食事のポイント～

① 消化に良い食品や調理方法を選択する

胃腸の調子が良くない時は、できるだけ食物繊維や脂肪が少ない食品、柔らかく加熱調理した料理が適しています。ごぼうやたけのこ、きのこなどの繊維が多く消化されにくい野菜は避ける、ドレッシングはノンオイルタイプへ切り替える、鶏肉は皮を取り除くなどの工夫を心がけましょう。

② 胃酸の分泌を高める食品を避ける

酸味の強いお酢や辛味の強い香辛料、炭酸飲料やコーヒー、アルコールなどの刺激物は避けることが望ましいです。

③ 胃腸に負担をかける食事の摂り方をしない

食事はゆっくりよく噛んで、冷たい飲み物などは一気に飲まず少しずつ摂りましょう。食後しばらくは安静に過ごすことで消化負担は軽減されます。

管理栄養士 山本 達也

当院の専門外来

【予約制】不整脈外来

【毎週月曜日】	受付/07:00～11:30	診察/09:00～	担当医/谷 友之
【毎月第1.3.5水曜日】	受付/07:00～11:30	診察/09:00～	担当医/谷 友之

【予約制】いびき・無呼吸外来

【毎週月曜日】	受付/13:30～15:00	診察/14:00～	担当医/後平 泰信
【毎週土曜日】	受付/07:00～11:30	診察/09:00～	担当医/後平 泰信

【予約制】弁膜症外来

【毎週月曜日】	受付/14:00～16:00	診察/14:00～	担当医/棒田 浩基
【毎週水曜日】	受付/13:00～15:00	診察/13:00～	担当医/山崎 和正

【予約制】補聴器外来

【毎週火曜日】	受付/13:00～15:30	診察/13:30～	担当医/外来担当医
---------	----------------	-----------	-----------

鼠径ヘルニア外来

【毎週水曜日】	受付/07:00～11:30	診察/09:00～	担当医/深堀 晋
---------	----------------	-----------	----------

【予約制】肝臓外来

【毎週金曜日】	受付/13:00～15:30	診察/13:00～	担当医/萩原 正弘
---------	----------------	-----------	-----------

【予約制】音声外来

【毎週火・金曜日】	受付/13:00～15:30	診察/13:30～	担当医/國部 勇
-----------	----------------	-----------	----------

【予約制】巻き爪外来 (保険外診療)

【毎週木曜日】	受付/13:30～15:00	診察/14:00～	担当医/大沼 眞廣
---------	----------------	-----------	-----------

【予約制】脳血管内治療外来

【毎週火曜日】	受付/13:00～15:00	診察/13:00～	担当医/黒岩 輝杜
---------	----------------	-----------	-----------

外来診療表

内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	※	●	●	

※ 予約患者のみ

循環器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	●
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●	●	●	●	●	

消化器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	※	※	※	※	

※ 予約患者のみ

炎症性腸疾患センター(IBDセンター)	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	※
受付/12:00~15:00 診療/13:00~	※	※	※	※	※	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		※				

※ 予約患者のみ

呼吸器内科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	▲	▲	▲	▲	※	※
受付/16:00~19:00 診療/17:00~					※	

▲ 肺がん・肺腫瘍専門 ※ 予約患者のみ

呼吸器外科	月	火	水	木	金	土
受付/12:30~15:30 診療/13:00~		●		●		

小児科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	▲

▲ 第1・第3・第5のみ

外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	●	●	●	●	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●	●	●	●	●	

※ 予約患者のみ

乳腺外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~			●	●	▲	
受付/13:00~15:30 診療/13:00~		●				

▲ 第1・第3・第5のみ

形成外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~	●		●			

麻酔科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~		●			●	

新患は紹介患者のみ

※都合により診療時間・担当医の変更や休診となる場合がございます。ご了承ください。
 ※健康診断・人間ドックにつきましては、「完全予約制」をとっております。お電話にてお問い合わせください。

脳神経外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~		●	●	●	※	●

※ 予約患者のみ

泌尿器科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~				●		

眼科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/13:00~16:00 診療/13:30~		※			※	
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		▲				

▲ 第2・第4のみ ※ 予約患者のみ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	●
受付/13:00~15:30 診療/13:30~	●	※	●	●	●	

※ 予約患者のみ

整形外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:00 診療/09:00~	●	▲	●	●	●	

▲ 第1・第3 新患受付は午前10:00まで

心血管外科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:30~		●		●	●	●

皮膚科	月	火	水	木	金	土
受付/16:00~19:00 診療/17:00~		●		●		

放射線診断科	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~			●			

放射線治療科	月	火	水	木	金	土
受付/08:00~11:30 診療/09:00~	●	●	●	●	●	
受付/13:00~16:00 診療/13:30~	●	●	●	●	※	

※ 予約患者のみ

整形外科外傷センター	月	火	水	木	金	土
受付/07:00~11:30 診療/09:00~	※	※	※	※	※	

※ 予約患者のみ

歯科口腔外科	月	火	水	木	金	土
受付/08:30~11:30 診療/09:00~	●		●	※		※
受付/13:00~16:30 診療/13:00~	●		●	※		

新患受付は午前11:00 / 午後16:00まで ※ 予約患者のみ

急病の方はいつでも受け付けております。

医療法人徳洲会
札幌東徳洲会病院
www.higashi-tokushukai.or.jp



〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3-1
 Tel.011-722-1110 (代表)

ACCESS

- 地下鉄** 東豊線 新道東駅 5番出口より 徒歩約5分
- 地下鉄 + 中央バス** 南北線 北34条駅にて
 ▶中央バス東76・東78で乗車
 ▶北34条東12丁目駅で下車 徒歩約1分
- 自家用車 (高速道路)** ▶伏古インター / 札幌北インター 約5分
 駐車場180台収容可能(一部有料)

LINE友だち募集!
 札幌東徳洲会病院の最新情報を配信中!
 友だち登録は右のQRコードから >>>>



日本医療機能評価



当院では、患者さまへ安全かつ高度な医療を提供するため、継続的に改善する取り組みの一環としてこの「病院機能評価」の認証を利用しています。病院機能評価とは日本の病院を対象に、組織全体運営管理および提供される医療について、日本医療機能評価機構が中立的、科学・専門的な見地から評価を行うツールで、患者中心の医療の推進、良質な医療の実践、理念達成に向けた組織運営から構成される評価項目を用いて評価され、一定の水準を満たした病院は認定病院となります。

※日本病院機能評価機構ホームページ：jcghc.or.jp

外国人患者受入れ医療機関認証制度



当院では、外国人患者受入れに関する認証制度「JMIP」の認証を取得しています。JMIPとはJapan Medical Service Accreditation for International Patientsの略称であり、日本語での名称は外国人患者受入れ医療機関認証制度です。厚生労働省が「外国人の方々が安心・安全に日本の医療サービスを楽しむことができるように」、外国人患者の円滑な受け入れを推進する国の事業の一環として策定し、一般社団法人日本医療教育財団が医療機関の外国人受け入れ体制を中立・公平な立場で評価する認証制度です。

※外国人患者受入れ医療機関認証制度ホームページ：jmip.jme.or.jp